

■ドイツ：グリーン電力に家庭用需要家殺到

2011年4月1日の報道によれば、3月11日に起きた東日本大震災の福島第一原子力発電所の事故以降、ドイツ国内のグリーン電力需要が急激に高まっているという（グリーン電力とは再生可能エネルギーで発電された電力）。デュッセルドルフのグリーン電力供給事業者ナトゥーアシュトロームは、震災後3週間で約10,000軒の家庭用需要家を獲得している。また、国内大手グリーン電力供給事業者の一つリヒトブリックの担当者によると、ドイツ全体の家庭用需要家のうちグリーン電力を選択する需要家を全体の約8%（260万軒）と推定していたが、今後はさらにこの比率は増えると見られている。なお、家庭用需要家のグリーン電力需要の高まりは日本の原子力発電所問題がまだ解決していないこともあり、比較的長期にわたり持続するだろうと予測している。